

平成28年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目

准教授

乾 展子

取組状況	
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年では、音声を聞かせての単語テストという新しい方式で実施した。この形式で発音と単語の両方を定着させることを目指した。今読解の授業では単なる日本語訳や文法の演習だけではなく、スラッシュリーディングやペア音読も取り入れた。 ・4学年ではTOEIC演習だけでなく、読解ではSVKリーディング、ライティングではコンバインライティングといった方法を取り入れることで学生が自分で考える演習を多く取り入れた。 ・4学年の選択授業では単語テストを実施し専門用語を覚えさせた。読解ではこれまで日本語で習ったことを英文で読むことで理系の英文を読むということに慣れることを目指した。 ・5学年の選択授業では毎回1つのテーマでエッセイを書かせた。また、書いた内容のチェックは学生同士のペアで行うなどの作業も入れて多くの演習時間を取った。
研究	<p>英語史の古英語から現代英語にいたるまでの命令や願望の動詞に続く従属節での仮定法を用いた用法を対象に分析を行った。仮定法は直接法や助動詞による用法の発達によって衰退してきたと言われているが、それ以外に、「不定詞」への移行も十分に観察できることが、通時的に文献を比較することで分かった。この変化の過程についてミニマリスト・プログラムを用いて分析しているところである。</p> <p>今年度理系の先生が実験を英文で指示するという研究を行い、その英文作成に携わった。</p>
社会貢献	<p>特になし</p>